



ブレストセンター クリニカルパス

～入院中の診療や看護の主な予定をご案内いたします～

様 病名 乳腺腫瘍（追加切除術 手術当日入院）

平成 年 月 日

主治医 担当看護師

聖路加国際病院（ ）病棟

| 経過 手術日・退院日など | 1日目 | | 2日目以降 | |
|--------------------------|--|--|--|----------------|
| | 入院日・手術前 | 手術後 | 術後1日目以降 | |
| 治療 薬剤 (点滴・内服) | 点滴留置針挿入（手術と反対側の腕）： 病室で行います。 | ・抗生物質の投与 ・痛みに応じて痛み止めを使用します。 （点滴、坐薬など） | ・食事が取れたら、点滴留置針を抜きます。 ・毎食後、痛み止めを内服します。（場合によって、必要時の内服でもかまいません。）退院後は、必要時の内服に変わります。 | |
| 処置 | 手術する側の乳房にマジックでマーキングします。 | 手術後、酸素投与を行います。 時々深呼吸を行ってください。 | ・酸素投与を中止します。 ・創部には創の保護の為、透明フィルムか、ダーマボンドで保護されています。フィルムは退院後、外来ではがします。 ・創部が問題なければ手術翌日に退院可能です。 | |
| 検査 | □（ ） | | | |
| 安静度 | 制限はありません。 | 手術後は、ベッド上安静。 身体の向きを変えたり起こしたりすることは可能です。 | 制限はありません。 初めて歩行される時は、看護師が付き添います。 | |
| 食事 | 入院後より絶飲食 | 絶飲食 □を湿らせたり、うがいはできません。 麻酔覚醒後6時間で水分摂取できます。 | 朝食から食事が始まります。制限はありません。 | |
| 清潔 | 手術用ガウン、下着に着替えます。 弾性ストッキングを着用します。 | 当日はガウンのまま過ごしていただきます。 | 創部は透明フィルムで保護されています。全身シャワーは可能です。 入浴は少なくとも次回外来までは、しないで下さい。 | |
| 排泄 | 入院後、尿量を計測し、記録してください。 | 麻酔がかかってから、尿道カテーテルを入れます。 | 朝、尿道カテーテルを抜きます。 | 排泄回数を記録してください。 |
| 説明・ オリエンテーション | ・病室・病棟・入院生活、手術前後の流れなどについて看護師より説明します。 ・手術、麻酔の同意書をお預かりします。 ・問診、検温、常用薬の確認等行います。 | 手術終了直後、ご家族に医師から手術内容について説明します。 | ・手術後、病理の結果がでるまでには約2週間かかります。 退院後、初回来にて結果をご報告し、今後の治療についてお話しします。 ・手術後のリハビリや生活上の注意点などについて、看護師より適宜説明します。 ・退院後の生活や注意点等についても説明書をお渡しして、説明します。ご質問、ご不明な点などありましたら、お声かけ下さい。 | |

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって変わる可能性があります。

注2 入院期間については現時点の予想です。